



元気な 24 埼玉の町村

埼玉県 町村ガイド





埼玉県町村会長
毛呂山町長
小沢 信義

このたび、埼玉県町村会では、平成19年に発行いたしました「元気な30さいたまの町村」の改訂版「元気な24さいたまの町村」を刊行いたしました。

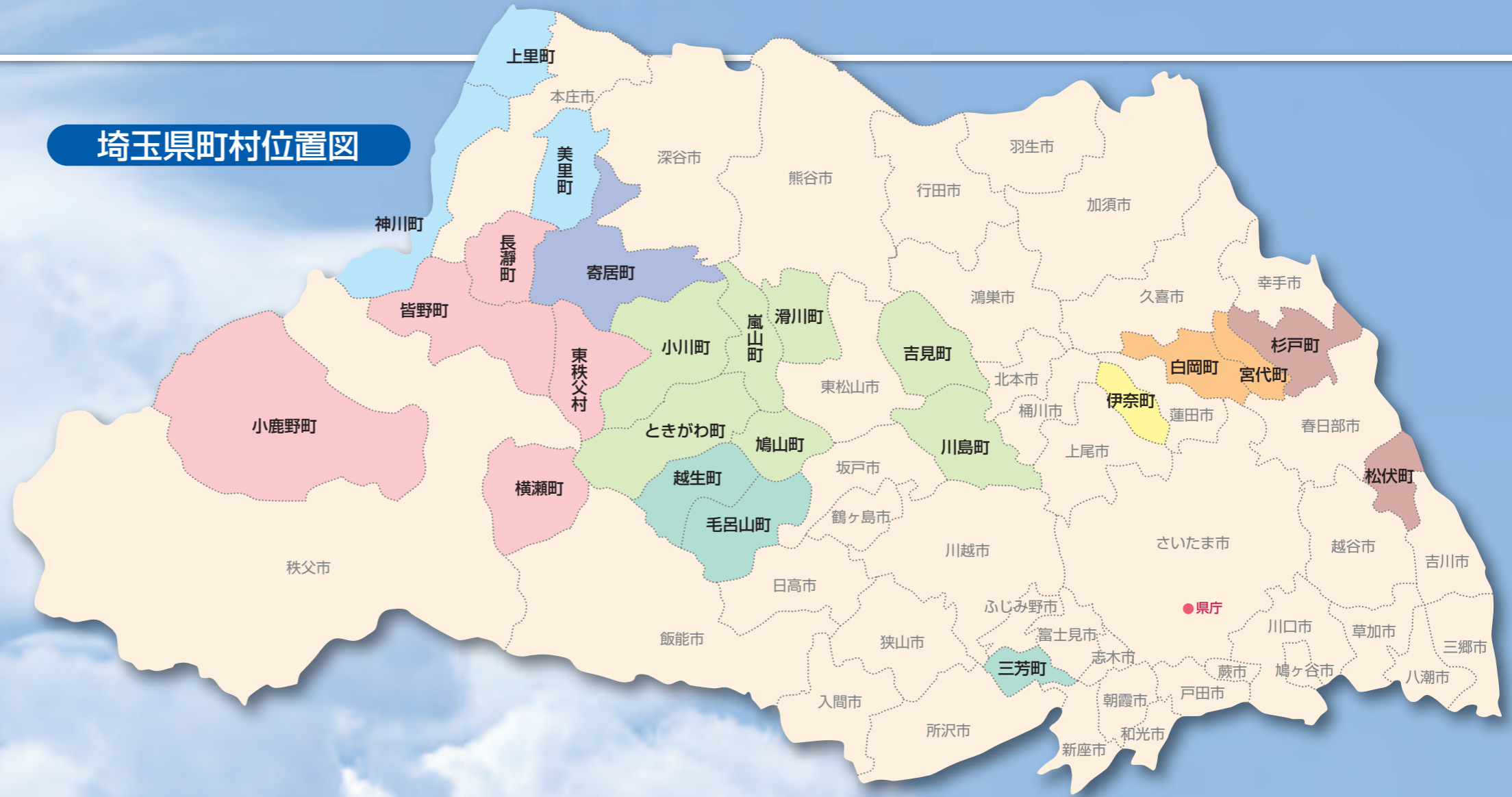
平成19年に発刊後、6町が更に合併し、いわゆる平成の大合併で、埼玉県の町村数は、49から24と約半数になりました。

このようななか、独自の道を選択した各町村では、住民に密着したきめ細かな行政を行っております。

この冊子は、そうした町村の特徴や名所、特産物などを案内すると共に住民や住民団体の皆さんにも登場していただいており、元気な町村の姿を紹介いたしました。

多くの皆様にこの冊子を御覧いただき、自然が豊かで見所も多く、美味しい食べ物も豊富な県内の町村へ是非おでかけ下さるようお願い申し上げます。

埼玉県町村位置図



北足立郡	人口	面積	ページ
伊奈町	42,673人	14.80km ²	4
入間郡	人口	面積	ページ
三芳町	38,631人	15.30km ²	6
毛呂山町	36,584人	34.03km ²	8
越生町	12,892人	40.44km ²	10
比企郡	人口	面積	ページ
滑川町	17,054人	29.71km ²	12
嵐山町	18,549人	29.85km ²	14
小川町	33,951人	60.45km ²	16
川島町	22,353人	41.72km ²	18
吉見町	21,478人	38.63km ²	20
鳩山町	15,438人	25.71km ²	22
ときがわ町	12,917人	55.77km ²	24

秩父郡	人口	面積	ページ
横瀬町	9,205人	49.35km ²	26
皆野町	11,075人	63.61km ²	28
長瀬町	7,997人	30.40km ²	30
小鹿野町	13,732人	171.45km ²	32
東秩父村	3,446人	37.17km ²	34
児玉郡	人口	面積	ページ
美里町	11,683人	33.48km ²	36
神川町	14,637人	47.42km ²	38
上里町	31,846人	29.21km ²	40
大里郡	人口	面積	ページ
寄居町	36,752人	64.17km ²	42

南埼玉郡	人口	面積	ページ
宮代町	33,372人	15.95km ²	44
白岡町	50,595人	24.88km ²	46
北葛飾郡	人口	面積	ページ
杉戸町	47,585人	30.00km ²	48
松伏町	31,506人	16.22km ²	50

※平成22年11月1日現在推計人口



みどりとおせせらぎのまち・おごせ



上谷の大クス

梅の里・越生町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、首都50km圏にあります。

秩父山地と関東平野の接点にあり、まちの中央を貫流する越辺川とその支流によって地形の変化に富み、四季それぞれの景観に恵まれています。

まちの一年は、早春の梅から始まり桜、つつじ、山吹、あじさい、さるすべり、秋の紅葉、そして柚子の香りへと移っていきます。

また、上谷の山入集落には、幹回り15m、高さ30m、樹齢千年以上にもなる関東一位の巨木『上谷の大クス』(クスノキ)があり、四季の花とともに一年を通して楽しむことができます。



越生町大字古池在住
浅野 麻衣さん

野末張見晴台

ここからの眺めはサイコー!です。空気も美味しいし、この場所にいるだけで心も体もリフレッシュできます。南東方向に開けているので、初日の出を見るには格好の場所です。北方に目を向ければ日光連山、赤城山、谷川連峰を展望することもできます。



太田道灌ゆかりの地

太田道真・道灌父子によって再建された龍穩寺は、江戸時代、全国の曹洞宗を統括する「関東三カ寺」の一寺として重要なお寺でした。敷地内には道真・道灌の墓塔のほか、山門、銅鐘などさまざまな文化財が保存されています。また、若き日の道灌が、鷹狩りの途中で立ち寄ったとされる山吹の里も有名です。



龍穩寺



山吹の里

越生町は、関東三大梅林のひとつに数えられている越生梅林があるほか、さくらの山公園、山吹の里歴史公園、五大尊つつじ公園、あじさい山公園などがあり、1年を通じて四季の花とかがりが楽しめる自然豊かな町であります。ぜひ、お越しいただき越生を満喫してください。

越生町長 田島 公子

Mayor's word



花とかがりを満喫して下さーい!

名産・特産・まち自慢!



梅

梅の実には、疲労回復に効果のあるクエン酸が豊富で、健康食品として人気があります。越生は梅が特産で、梅干しをはじめ、いろいろな製品に加工されています。特に、梅の実が丸ごと入った「元氣百梅」は、添加物を一切使用していないアルカリ飲料として、とても人気があります。



ゆず

越生のゆずは皮が厚くしっかりしているのが特徴で、美容にとってもよいビタミンA、ビタミンCが豊富に含まれています。この越生のゆずを使った「おごせ ゆず之介」は、適度な酸味と甘さの爽やかな飲料として、「元氣百梅」と並ぶ人気商品です。

五大尊つつじ公園



町を元気にするこんな人たち。



おごせには、特産品の梅・ゆずを使った美味しい食べ物がたくさんあります。「梅コロッケ」「梅みそかつ丼」「ゆずの和菓子」「ゆず入りうどん」等々。でも梅・ゆずの食べ物ばかりではありません。おごせにしかない魅力的な商品がたくさんあることをご存じですか? なかなか気付かなかったおごせの逸品を一堂に集めたのがこの『おごせ一店逸品カタログ』です。このカタログを手に、おごせの町を探索してみたら、あなただけの新しい発見にきっと出会えるはずです。

越生町商工会職員の皆さん

おごせ新発見! カタログに!



自然環境と交通の便の双方に恵まれ、バランスのとれた発展を遂げる滑川町。東武東上線の沿線でこれほど活気のある町は、ほかにないと思います。森林公園に代表される豊かな自然は、私の一番の誇りであり、これをいかに将来に引き継ぐかが、町長としての私の仕事だと考えています。

滑川町長 吉田 昇
Mayor's word



滑川は町も人も活気があるぞう！

首都圏有数の里山が息づく、なめがわへ。森林公園のある町。



県のほぼ中央、首都60km圏に位置する滑川町。標高131.8mの二ノ宮山を最高峰とする町面積29.71km²の6割を丘陵地が占め、これを水源とする200余の沼と北部の和田川・中央の滑川・南部の市野川が流域を潤しています。町名由来の滑川を境に、北部には森林公園に代表される緑いっぱいの里山が、南部には森林公園駅とつきのわ駅を核に住宅や工業地帯が広がっています。大きな空と豊かな自然。交通網や商業施設など住環境もますます充実し、人口も1万7千人を突破。人と自然が共生する、首都圏有数の活気あふれる里山です。



国営武蔵丘陵森林公園

昭和49年、国営公園第一号として開園。四季を通じ緑や花などを楽しむ老若男女で賑わう。特に、秋に開催される「沼まつり」は、地元の伝統的行事である魚とり会を再現したもので、毎年多くのファンを集める。現在は、町との協働で里山の環境保全のシンボルである「やまゆり」の育成にも取組中。東京ドーム65個分の広さは、町民一人当たりの都市公園面積を押し上げ、県内平均の約40倍、全国でもトップクラス。町内環境の維持に大いに貢献している。

地理的条件と自然環境のグッドバランス

滑川町は、都内から、電車でも1時間、自動車でも1時間という地理的条件と自然環境のバランスの良さを活かし、森林公園を核とする、首都圏住民のレクリエーション地域としても発展中です。



首都圏有数の里山「谷津の里」

「谷津の里」は当地の典型的な谷津の景観を活かし、市民農園や観光農園、散策路などが整備されている。「伊古の里」は、町のシンボル「二ノ宮山」のふもとに設置され、地域資源を活用したうどんやそば打ち体験・農産加工体験などを提供している。
《問い合わせ/谷津の里管理組合 ☎0493・56・6084 伊古の里管理組合 ☎0493・57・0505》

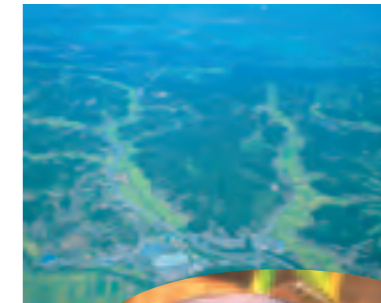


「谷津の里」では1月～5月に美味しいいちご狩りが楽しめます。

名産・特産・まち自慢！

沼水が育んだ、豊かな暮らし

丘陵地のなだらかな丘と丘の間に連なる、ヤツデの葉のように入り組んだ「谷津(やつ)」。当地では古くから、この谷津の空間を暮らしに活かしてきた。その核となるのが、谷津の途中を堰き止めて造られた沼(=農業用ため池)で、その数200余り。関東一の密度を誇るこれらの沼のおかげで、沼下では安定して水田が営まれ、人間だけでなく、国指定天然記念物のミヤコタナゴ(コイ科の淡水魚)に代表される貴重な野生の生きものを育むとともに、周囲の雑木林と相まって、当地の典型的な景観を創り出している。



ミヤコタナゴ

沿線随一、活気ある「つきのわ駅」周辺

平成14年、町内二つめの駅として開業した「つきのわ駅」。この辺りは、環境にやさしい包装材として注目される「批木(ひぎ)」発祥の地としても知られる。この駅を中心に進められた土地区画整理事業が平成20年度に竣工し、町の南部地域の人口が急増。これに伴い同地域に平成22年4月、「月の輪小学校」が開校した。また、この駅は、平成10年夏の甲子園大会で初出場ながらもベスト16入りし話題となった県立滑川総合高校の最寄り駅として、朝晩は高校生で賑わう。

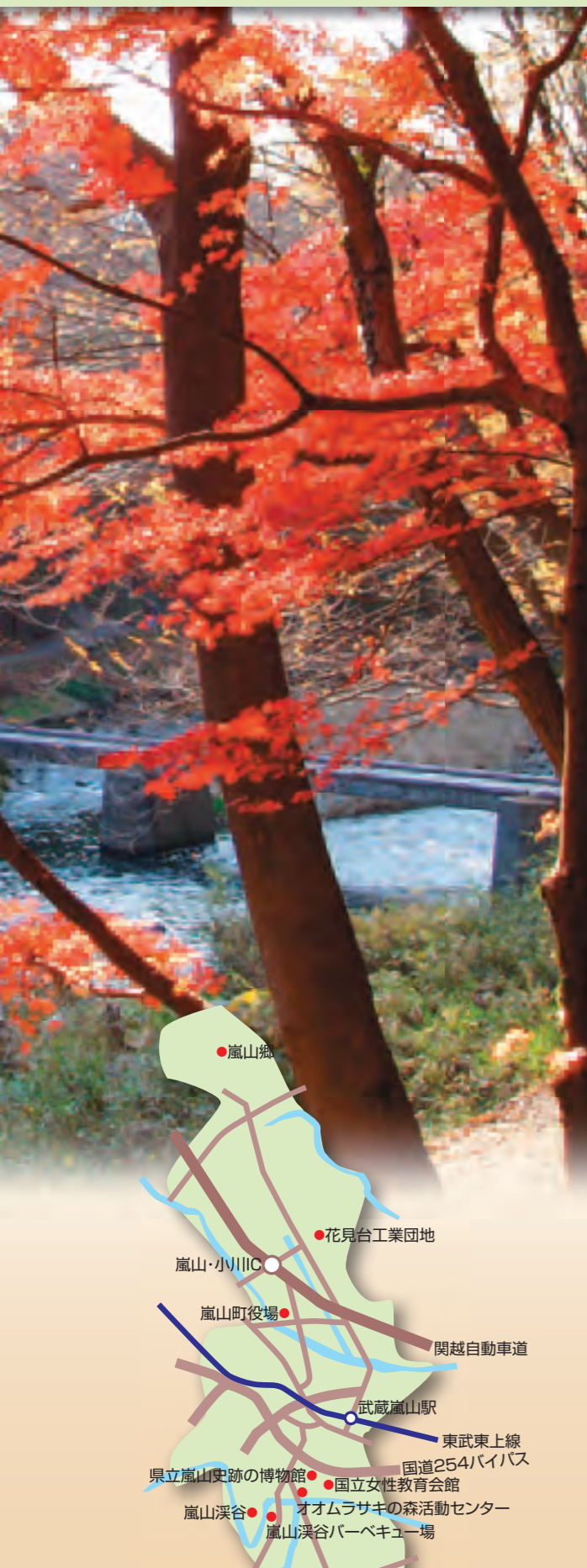


町を元気にするこんな人たち。
大勢の前で話すときは、恥ずかしさを克服するため意識して大声を出しています！

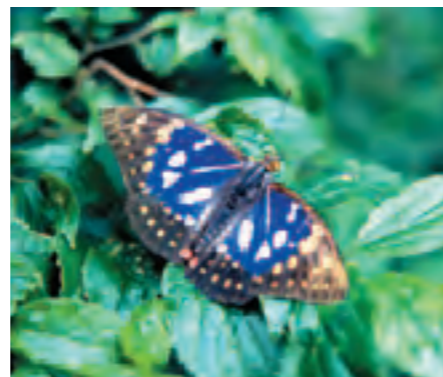
町の交通指導員として、平日には毎朝、町役場北の交差点に立ち、児童や生徒らの通学時の安全を見守るほか、休日には滑川中野球部の練習試合の審判も。地元にあっては「水房ちびっこ太鼓」を主宰し、小学生たちと年数回の公演をこなす。長年、長距離走のトレーニングで鍛えた体力を武器に、地域のボランティア活動などにも精力的に取り組み、子どもから大人まで顔が広い。入学式や運動会などでの大声による挨拶は、氏の一番のトレードマークに。

水房地区在住
交通指導員 中村 利治さん





豊かな自然 心の通いあうまち 笑顔あふれる笑顔



嵐山町は埼玉県のほぼ中央に位置し、都心より60km圏にあります。比企丘陵の中核部を占めており、山あり渓谷あり、平地ありと変化に富んだ自然の宝庫で、国蝶オオムラサキが生息する地としても有名です。

町名発祥の地でもある武蔵嵐山渓谷周辺樹林地は、平成8年にさいたま緑のトラスト保全第3号地に指定され、町民と町が一体となり保全・活用を進めています。

歴史的には木曾義仲や畠山重忠など、平安末期から鎌倉時代にかけて日本史に名をとどめた坂東武者ゆかりの地でもあります。

嵐山渓谷でバーベキュー

豊かな緑の中、槻川のやさしい流れを聞き、心地よい風に吹かれながらのバーベキューはいかがでしょう。清らかな水が浅瀬をゆったりと流れ、小さなお子さんでも水遊びが楽しめます。パラソルや鉄板などは、レンタルすることができます。また、薪や炭、バーベキュー用品、調味料などは売店で販売しています。清潔な水洗トイレもありますので、ご家族でも安心してご利用になれます。



嵐山渓谷バーベキュー場

中世山城の最高傑作・杉山城跡

杉山城跡は戦国時代の16世紀初め、この地域が戦乱の最前線だった頃に造られた山城で、複雑で技巧的な築城技術から山城の最高傑作とされ、多くの見学者が訪れています。城内は里山の風景がのこり、春は桜、夏はヤマユリが咲き、冬は外秩父・赤城・日光白根・筑波の山並みから関東平野を一望できます。



嵐山渓谷をはじめ、自然に恵まれた緑と清流の町。都心から近いこともあり、町を流れる槻川・都幾川の河原は、シーズンになるとバーベキューに訪れる観光客でいっぱいになります。ぜひ一度、都会で疲れた心と体を癒しに、嵐山町を訪れてみてはいかがでしょうか。

嵐山町長 岩澤 勝
Mayor's word



癒しの場所へ
おいで下さい！

名産・特産・まち自慢！

芋ようかん「紅東」「紫芋」

町・農家・商業者のみなさん協同で開発を進めてきた、こだわりの芋ようかん「紅東」と「紫芋」が商品化されました。原料には、地元農家が丹精込めて育てあげたさつまいも（ベニアズマ、ムラサキイモ）を使用し、町内の和菓子の老舗によって、それぞれの芋の風味と食感を残し、甘さをおさえた上品な味に仕上げられています。販売は収穫量に合わせた期間限定販売となっています。



鬼鎮神社

鬼を守護神に祀った珍しい神社で、2月の節分祭では「鬼は内、福は内、悪魔外」と赤鬼と青鬼が豆まきをします。勝利の神としても有名で、多くの受験生が合格祈願に訪れます。



自然を身近に
感じて下さい！

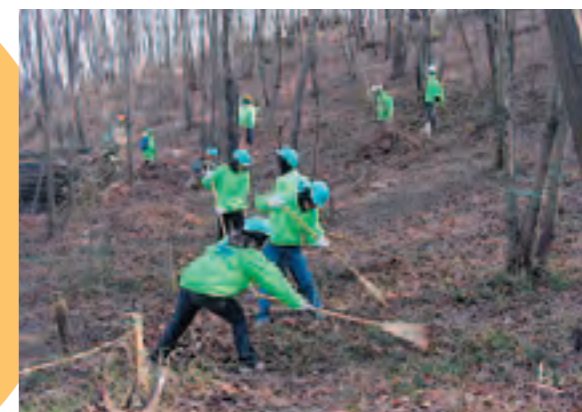
町を元気にするこんな人たち。



私は、嵐山モウモウ緑の少年団と一緒に雑木林(小千代山3.8ha)の整備を続けています。間伐をして、橋・遊歩道・カブトムシの堆肥場を作りました。多くの人に、雑木林の中を気軽に散策し、身近にある自然を体で感じてもらうたくて活動しています。森のやさしさに触れてみてください。

嵐山町平澤在住

嵐山モウモウ緑の少年団 団長 国峯 修さん





温もりのあるまち「小京都おがわ」 都心から電車で70分、自然と歴史・文化



小川町は四方を緑豊かな山々に囲まれた盆地で、市街地の中央部を槻川が流れ、昔の面影を残す町並みや風情から、いつしか「武蔵の小京都」と呼ばれる、歴史と伝統のある町です。

長い歴史を誇る小川和紙、それを今に伝える埼玉伝統工芸会館。吉田家住宅は年代の判明する県内最古の民家です。今も脈々と受け継がれる造り酒屋。のらぼう菜や有機野菜などの食文化。鎌倉時代には「仙覚律師」(せんがくりっし)がこの地方で万葉を読み解きました。春にはカタクリの群生が彩り、国蝶オオムラサキが舞います。艶やかな和紙を使った七夕まつり、全国からランナーを迎える和紙マラソン。仙元山見晴らしの丘公園からの眺望は絶景です。ゆったりとした時間の流れを感じながら、観て、食べて、遊び心満点の癒しの里「小川町」です。



仙元山見晴らしの丘公園 秩父連山、浅間山や四方を山に囲まれた市街地を眼下に見下ろす203mのスリルと眺望満点のローラーすべり台。

小川町駅前通りの「楽市おがわ」は、情報発信基地

小川町駅を降りて駅前通りを歩くと左手にあるのが「楽市おがわ」。ここは町の情報発信基地。まずは、お茶を飲みながら町の情報を集めて、さあ小さな旅に出かけよう！時間がない方には、販売ボックスで駅から遠いお店のチェックもできて便利です。



埼玉伝統工芸会館

和紙をはじめ、県内20産地30品目の伝統的手工芸品を一堂に集めた「埼玉伝統工芸会館」。手すき和紙も体験できます。



小川町長 笠原 喜平
Mayor's word

和紙のふるさと「おがわまち」。そこに、ホンダエンジン新工場等も完成し、伝統技術と最新技術が両輪となり、新しいまちづくりを進める小川町。自然がいっぱい、見所いっぱい、週末には小さな旅を試してみませんか。



「伝統の技」最新技術の共演！

名産・特産・まち自慢！

小川の和紙(細川紙)

小川和紙はおよそ1300年前に高麗人によって伝えられたと言われていいます。国内産コウゾを使用した細川紙は小川和紙のブランド。本物の良さ、手作りのぬくもりを求める人に、いま、和紙が注目を集めています。



クジャクソウ(キク科 シオン属)



小川町は、昭和30年代に品種改良されたクジャクソウ発祥の地。花はとても長持ちで、花色も白・ピンク・ブルーと様々。なかでもピンクの「日本一」は大変人気です。

小川和紙マラソン

全国ランニング大会100撰に13年連続入選、毎年12月の第2日曜日に開催。ハーフ・10km・5km・3km・2kmのコースがあり、毎年4,000人以上が健脚を競い合います。



のらぼう菜(アブラナ科の野菜)

ビタミンCなどの栄養価が豊富で、天明の飢饉を救った野菜と言われていいます。コロッケやうどん、そばなどで試してみてもいかがですか。



町を元気にするこんな人たち。

落語家 林家木久扇師匠に弟子入りした小川町出身の林家けい木さん。今は、毎日、毎日「小喃づくり」。日本テレビの人気番組「笑点」で、木久扇師匠がその小喃を「埼玉県小川町出身の弟子「けい木」の作です。」と紹介してくれることも度々。近い将来、本人の「笑い」で町を明るくしてくれることでしょう。

落語家にチャレンジ！



林家木久扇 一門 小川町出身 林家 けい木さん



水と緑のオアシスタウン かわじま



川島町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、四方を川に囲まれていることから「川島」の名がつけました。水と緑豊かな自然を残す、やすらぎのグリーントウンです。高低差のほとんどない平坦な土地で、肥沃な土地を利用し、米作を中心とした農業が盛んです。

平成20年3月、首都圏中央連絡自動車道川島インターチェンジが開通し、この立地条件を生かし産業団地の整備を進め、周辺環境も大きく変わってまいりました。

これからも、川島町は、豊かな自然のある農村と都市が調和したまちづくりを目指しています。

白鳥の飛来するまち

毎年、11月上旬から3月下旬ごろまで遠くシベリアからコハクチョウが越辺川に飛来し、越冬します。その優雅で愛らしい姿は、人々の心を和ませてくれます。

また、越辺川の長楽落合橋付近から天神橋にかけての堤防は、秋分の日前後になると彼岸花が咲き誇り、その艶やかさは一幅の錦絵のように見事です。



白鳥飛来地



彼岸花

遠山記念館

日興證券創立者である遠山元一氏の生家と収集したコレクションを美術館で公開しています。中には国指定重要文化財も含まれ、母屋などの建物は国の登録有形文化財となっています。



平成の森公園

水と遊び、森のイメージに包まれた約8.4haの広さの公園。ちびっこ広場や多目的広場などのほか、バラやはなしょうぶなど四季折々の花が楽しめます。

安心して遊べる
平成の森！

川島町は、四方を川に囲まれた豊かな自然が今も残る人口2万2,000人余りの町です。「住民主体、対話の町政」を基本理念に「夢と希望のある明るいまちづくり」を進めています。これからも川島を思い、川島を愛する人々と新しい風を求め、安全で安心できるまちづくりに取り組んでいきます。

川島町長 高田 康男

Mayor's word



町民みんなが
まちづくりに
参入！

名産・特産・まち自慢！



いちご
栽培の中心は「とちおとめ」という品種で、酸味が少なく、甘みが強いのが特徴です。陽春になると、その大粒の果実が真っ赤に熟し、5月ごろまで消費者のもとへ届けられています。

川越藩のお蔵米

面積の約60パーセントが田畑で、中心作物は米です。江戸時代には、お蔵米として川越藩に献上された由緒あるお米です。埼玉コシヒカリ、キヌヒカリなどおいしい米が生産されています。



いちじく
町の新しい特産品として美容や健康によいとされている「いちじく」の栽培普及に取り組んでいます。現在は約5ヘクタールの農地に栽培され、主に生食用として出荷しています。

日本一長いバラのトンネル

平成の森公園内の「バラの小径」は、全長330.5m、53品種427本のバラのトンネルです。かわじま合併50周年を記念して平成18年1月に完成しました。また、日本一ネット「日本一長いバラのトンネル」として認定されています。



町を元気にするこんな人たち。
やればやるだけの満足感がある！

農業大学校を卒業して20歳で就農しました。トマトやいちご、米、野菜などを栽培出荷しています。農業は年中無休でたいへんですが、やればやるだけ収穫として返ってきます。今後は、自分で農産物直売所をつくり、フレッシュな野菜などを皆さんに提供できるようにしたいです。



下ハツ林在住
田中 佐賀美さん

吉見町

〒355-0192 比企郡吉見町大字下細谷411番地
tel 0493・54・1511 fax 0493・54・4200
http://www.town.yoshimi.saitama.jp/



みんなで創る、みどりと笑顔があふれるまち

吉見町在住
岡安 広美さん



ヒカリゴケ

埼玉県のほぼ中央に位置し、南部は川島町、西部は東松山市、東部は鴻巣市と北本市、北部は熊谷市に隣接する東西約7km、南北約8km、総面積38.63km²のまちです。都心から50km圏にあり、東武東上線やJR高崎線、関越自動車道などへ容易にアクセスできます。また、町の大部分は平野部で、東部に荒川、南西部に市野川が流れ、肥沃な穀倉地帯となっています。西部丘陵地帯は県立比企丘陵自然公園に指定されており、吉見百穴や八丁湖周辺に散在する黒岩横穴墓群などは、古墳時代を代表する貴重な史跡として注目されています。



道の駅いちごの里よしみ

私は、いちごの里よしみが大好きです。いつも寄り道したくなるいちごの里。甘酸っぱいいちごの香りと広い緑の空間が優しく迎えてくれます。多くの人が集い、多くの人で出迎える。それが「よしみまち」です。気軽に声をかけてみてください。あなたを温かく迎えてくれるはず。そんな人たちがばかりです。見て・食べて・歩いて・遊んで、ほっと一息ついてみませんか。ゆっくり歩いていると見えてくる数々のおしゃれないちごのモニュメント。ここは、いちごの里。ふるさとの発信地です。

史跡といちごのまち

吉見町は首都圏の50km圏に位置し、国指定史跡の「吉見百穴」と特産品の「吉見いちご」で有名な人口2万2千人余りの町です。一級河川の荒川とその支流の市野川に囲まれた肥沃な土地に恵まれ、平坦地では稲作を柱とする農業が盛んです。特に、いちごは県内有数の産地となっております。また、西部丘陵地域には、吉見百穴、松山城跡、吉見観音など数多くの文化財や史跡があり、歴史の宝庫であります。



吉見産いちご

県内で1、2位を争うほどの生産量を誇る吉見産いちご。粒が大きく、甘みたっぷりの「とちおとめ」が生産品種の主流で、生産高の約9割を占めています。最盛期の12月から5月ごろにかけては、町内のいたるところで栽培用ハウスが見られ、道の駅やいちご農園には、多くの買物客や観光客が訪れます。



さくら堤公園

町の東端を流れる荒川の堤防の両端約2kmにわたり桜の木が立ち並び、春には桜の花のトンネルで路上が覆い尽くされます。また、この時期には菜の花も咲きほこり、桜のピンクと菜の花の黄色のコントラストは見るものを驚かせます。なお、堤防上は自転車道になっており、サイクリングを楽しむこともできます。

厄除け朝観音

坂東11番札所の安楽寺で毎年6月18日に行われる本尊の御開帳。朝早くからお参りするほど御利益があるといわれ、午前2時ごろから名物の「厄除けだんご」を買い求める参拝者で参道や境内は大いに賑わいます。このだんごを食べると一年間の厄落としができるといわれています。



吉見町青年団の皆さん



吉見町では町の活性化のために有効な施策の展開に努めております。今後も、町民の皆様と行政が一体となり、町の将来像である「みんなで創る、みどりと笑顔があふれるまち」の実現に向けて取り組んでまいりますので、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

吉見町長 新井 保美

Mayor's word



みどりと笑顔があふれるまち

名産・特産・まち自慢!

吉見百穴

吉見百穴(よしみやくあな)は古墳時代末期(6世紀末~7世紀末)に造られた横穴墓で、大正12年に国の史跡に指定されました。現在、219基の横穴が確認されています。また、横穴の内部には国指定天然記念物の「ヒカリゴケ」が自生しており、関東平野に生育していることは植物学上きわめて貴重です。



町を元気にするこんな人たち。

みなさんこんにちは!!元日0時に始まる甘酒配りからクリスマスのイルミネーションフェスタまで、色々なことをやるボランティアサークル、吉見町青年団です。2003年、当時の団長が思い付きで始めたイルミネーションフェスタは、ただ見るだけでなく、一般の方やサークルがイルミネーションを作る側として参加することも可能です。テレビや新聞などでも取り上げられ、2009年には来場者が2万5千人を超えるイベントに成長しました。クリスマスには、みなさんも是非吉見町へお越しください!!



香る文化と、見つめる未来。 夢の舞う時間空間へ。



須恵器

鳩山町は埼玉県の中央をしめる比企地方の南端に位置し東京からの距離は50kmで、埼玉県だけでなく、日本のほぼ中心でもあります。昭和30年に鳩山村としてスタートし、昭和49年から鳩山ニュータウンや気象衛星通信所、地球観測センター等が相次いで立地し、人口も年々増加してきました。昭和57年に町となり、現在は大学や民間の研究所もあり、研究学園文化都市としての色合いが濃くなっています。また、町内には味わいのある史跡も多く県指定の文化財が1つと町指定が7つあり、緑豊かな自然と、素朴なたたずまいが心を和ませます。

里山に 先端技術が溶け込む 学術文化のまち

自然豊かな昔ながらの里山が残る鳩山町には、町指定天然記念物となっている樹齢約600年のイチイガシの古木、八十八カ所観世音菩薩や百地蔵尊が彫られ大師堂が建立されている高野倉八十八カ所など歴史を感じさせる史跡が点在する一方、JAXA(宇宙航空研究開発機構)や気象庁気象衛星通信所、東京電機大学、山村学園短期大学があり、学術文化のまちとしての一面ものぞかせています。



東京電機大学



大豆を手にする
大東文化大学の学生

町を元気にする こんな人たち。

おしゃもじ会の皆さん



おしゃもじ会は、地元の主婦が中心となって、地元の食材を使った「みそ」や「まんじゅう」など、無添加で手作りの安心な商品を提供しています。

鳩山産の黒大豆を生地と餡に使用した「はあーと友愛焼」は、大豆の風味を生かした手作りの焼き菓子です。ぜひ、ご賞味ください。



埼玉県のほぼ中心に位置している鳩山町は、自然豊かな里山が広がるまちです。全国的に少子高齢化が進む中、鳩山町の健康寿命は県内でトップレベル、また県の地域子育て応援タウンに認定されています。「花と木と笑顔でつなぐ、安心して魅力的なまち」を目指して、すべての世代が安心して暮らせるまち、人々が支えあい心豊かに暮らすことができるまちづくりに取り組んでいます。

鳩山町長 小峰 孝雄

Mayor's word



自然と新しさの調和した町です！

名産・特産・まち自慢！

鳩豆うどん

鳩山産黒大豆を使ったうどんは、一見そばのような色合いとツルツルした食感が特徴です。大豆は、高血圧症、骨粗しょう症など現代病成人病に有効なたんぱく質やイソフラボンがたっぷり入った健康食品です。



鳩豆醤油

低農薬栽培された鳩山産大豆を厳選して使用し、明治から続く近隣の醤油蔵の木樽でじっくり醸造された丸大豆醤油です。丸大豆ならではのコクとうま味が凝縮されたオリジナル醤油は贈答にピッタリです。



日立基礎研究所

「人間・情報」、「医療・バイオ」、「環境・エネルギー」、「ナノテクノロジー」など世界水準の研究開発が行われています。独自に開発されたホログラフィー電子顕微鏡は高さ7メートルにもなります。



鳩山町大豆戸在住
坂野 りょう子さん
(画家)

高野倉ふれあい自然公園

公園入り口にある御堂山は、春は山桜、秋は紅葉、冬はヤブツバキと四季折々の景色を見ることができ、夏には近くの水路で無数のホタルが飛び交います。また、隣接する高野倉八幡神社には樹齢600年のイチイガシ(町指定天然記念物)があり、幹から根にかけてのうねるようなラインは凄い迫力です。



人と自然の優しさにふれるまち



ときがわ町は、首都圏から北西約60km、埼玉県のほぼ中央に位置し、中心を町名の由来である都幾川が西から東へと流れています。外秩父山地が武蔵野に接する比企西部山間山沿地域に属する山々の主峰・堂平山は、関東平野を一望できる景観スポットです。町の面積の約7割を占める山林は、これまでスギ・ヒノキを中心に優良な森林資源を育て、水と緑に囲まれた豊かな自然環境に恵まれた地形を生み出してきました。先人によって育まれた個性豊かな文化、伝統的なまつり、良質な温泉など、町には素朴な魅力があふれています。



たまがわ花菖蒲園

毎年6月上旬から中旬にかけて、8,200株の色鮮やかな花菖蒲が咲き揃うこの場所が私のお気に入り。すぐそばを都幾川が流れていて、癒しの効果も抜群です。木製の遊歩道が整備されているので、車いすでも安心して花を楽しむことができますよ。

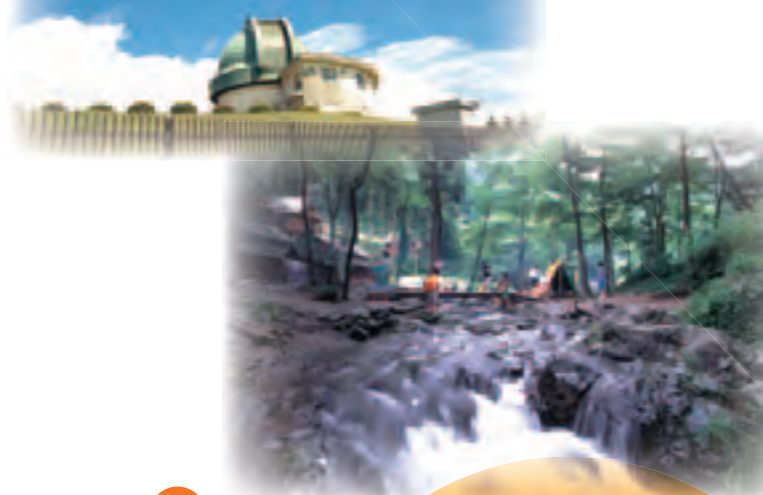
ときがわ町関堀在住
福田 奈緒さん

歴史が育んだ伝統

「首都圏から最も近いふるさと」そんな言葉がときがわ町にはよく似合います。四季を通じて花々の彩に包まれ、気軽に自然とふれあうことのできるのも町の自慢。花菖蒲、シャガ、アジサイなど、季節の花々が町を訪れる人たちの心を癒してくれます。町内に整備された地域振興施設では、ふるさとの伝統や味覚を体験することができ、新鮮な地場野菜、地域特産品などはお土産としても好評です。都幾山慈光寺を中心とする歴史が育んだ文化は、その伝統を受け継ぐ木工建具の技術に宿っています。

豊かな自然を体験するには

渓谷沿いに広がる「木のむらキャンプ場」では、木漏れ日の山道を散歩したり、冷たい水が気持ちいい川で遊んだり楽しみ方は色々。堂平山頂の「星と緑の創造センター」では、輝く星空と関東平野の夜景を見ながら宿泊することができます。都幾川の両岸に造り出された景勝地「三波渓谷」には、日帰り温泉施設「都幾川四季彩館」が整備され、癒しの空間として好評です。



町を元気にするこんな人たち。

林業の担い手として
研修中！

林業従事者の高齢化により、町では次世代の森の担い手を育成する「緑の雇用創出事業」に取り組んでおり、現在2名の研修生がベテランの林業従事者から技術を学んでいます。町内の約100ヘクタールの町有林を中心に草刈、枝打ち、間伐などの施業や、町が管理する遊歩道の管理業務などを行うほか、森林資源を活かしたキノコ栽培や、薪の生産流通システムの確立などの研究に取り組んでいます。「山の仕事は専門の知識や技術が必要な重労働ですが、自分自身の手できれいにした森林を見るたびにやりがいを実感できる、誇りを持てる仕事です。樹木の育成は何十年という長いサイクルなので、次代の林業振興を見えながら一人前の林業者に成長したいです。」



町長を囲む緑の雇用創出事業第2期研修生 田中 秀成さん(左)
川村 聡さん(右)

平成18年2月1日、旧都幾川村・旧玉川村が合併して誕生した「ときがわ町」は、あふれる木々の温もりや、四季折々に咲き誇る花々、悠久の川の流りが織りなす豊かな自然に抱かれ、古きよき「ふるさと」の魅力なたたえています。春夏秋冬、幾通りもの表情で訪れる方を温かく迎える町、ときがわ町へようこそ。



「ふるさと」
「tokigawa」

ときがわ町長 関口 定男 Mayor's word

名産・特産・まち自慢!



ふるさとの味を楽しんで

古くから地域に伝わるうどんやそばといった伝統の味覚を求めて、そば打ち体験もできる「いこいの里大附」や、古民家を改築した落ち着いた雰囲気「やすらぎの家」、ひもかわ(うどん)やきつね寿司などの郷土料理が味わえる「くぬぎむら体験交流館」が賑わいをみせています。山林の間伐材を利用して栽培されたキノコも人気。秋になると里山ならではの味覚が「ふれあいの里たまがわ」「木のむら物産館」「建具会館」「大野特産物販売所」などの店頭を飾ります。



歴史のロマンに思いをはせる

1,300年の歴史と国宝を有する「都幾山慈光寺」は、飛鳥時代に開かれたと伝えられ、鎌倉時代には源頼朝の手厚い庇護を受けました。寺院造営にあたった木工技術者「番匠」が伝えた高度な技術の伝統と、現代の先端技術を加えて作り出される「ときがわ建具」は県内でも逸品として知られています。毎年初夏には、参道に可憐なシャガの花が群れ咲き、参拝者の目を魅了します。



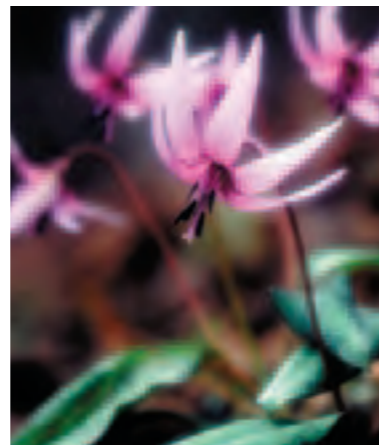


緑と風が奏でる
このころ和むまち
“うららかよこぜ”



武甲山

武甲山は私たちにとって、やすらぎの山です。旅行などに出かけて家に帰る際、武甲山が見えとくるとほっとします。山登りを始めるきっかけとなったのも、武甲登山でした。今は、ハイカーが安全に武甲登山を楽しめるよう、会の皆さんと登山道の整備をしています。



横瀬町は、埼玉県西部、都心から70km圏内に位置し、総面積49.49km²、人口9,200人余りのコンパクトな町です。町のシンボルである武甲山をはじめ豊かな自然の恵みを受け、優しさとぬくもりが実感できる美しい自然は、人々を癒し活力の源になっています。

主要道路と鉄道は、国道299号と横瀬・芦ヶ久保の2駅がある西武鉄道秩父線が町の東西を走り、秩父地方の東の玄関口の機能を果たしています。

また、観光農園では果樹栽培が盛んに営まれ、札所や歴史的な文化遺産も多数あり首都近郊の観光地として知られています。



横瀬町大字芦ヶ久保在住
武甲岳人会 会長 赤岩 肇さん

豊かな風土に 歴史と伝統の息吹

秩父連山の豊かな自然に囲まれた横瀬町は、潤いとやすらぎあふれる“うららか”な町です。変化に富んだロケーションをもち、季節を彩る可憐な花や見事な紅葉は訪れる方々の目を楽しませ、自然と温暖な気候に育まれた果物は、四季折々に観光農園でその旬の味覚を堪能できます。

また、秩父札所34番のうち6か寺が町内にあり、5番から10番までが各地区に点在しています。他にも無形文化財が数多く残り、豊かな文化風土の中で、培われてきた歴史と伝統の息吹を感じることができます。

横瀬町は、首都近郊という好立地に恵まれた交通アクセスを背景に、芦ヶ久保駅に隣接した「道の駅 果樹公園あしがくぼ」は、観光と町の活性化の拠点として、にぎわいをみせています。



札所8番[西善寺]

樹齢600年ともいわれる県指定天然記念物の「コミネカエデ」

今、住民が求めているのは、心の安らぎと生きがい
が得られる環境であり、その環境は、地域の伝統・
文化を育む自然の恵みと人の調和によって形成さ
れるものです。横瀬町では現在、3つのワード「魅」
「絆」「希」をまちづくりの目標に掲げ、住みやすく、
訪れたいくなる、活力あるまちを目指しています。

横瀬町長 加藤 嘉郎

Mayor's word

横瀬町イメージキャラクター
ブコーさん

名産・特産・まち自慢!

観光農園

横瀬町は果樹の宝庫。旬の味を楽しんで。



横瀬小学校木造校舎

昭和8年に竣工し、今なお現役の学舎。



ヨコゼ音楽祭

ボランティアが支える、住民参加型の手作り音楽祭。



町を元気にするこんな人たち。

花を愛する人たち
道行く人へ
花を愛する人たち
道行く人へ

自然を愛しガーデニングを楽しむ仲間が68名集まって、それぞれ個性のある庭を一般の方に開放しています。横瀬町を訪れる方々が、オープンガーデン巡りで、花を愛でて、やすらぎを感じていただけるよう、心を込めて花を育てています。

横瀬町大字横瀬在住
オープンガーデンよこぜ運営部会 会長 藤野 信子さん



横瀬町民はみんな
生き生きしてる!



山にこだまます太鼓のリズム まちを彩る四季の花心のふるさと 皆野町



皆野町は埼玉県の西北に位置し、東京から鉄道で約2時間。町の中央には「荒川」が流れ、桜・山つつじ・あじさいの名所「美の山」をはじめとする500~1,000m余の山々に囲まれた、人口約11,000人の自然豊かな町です。

関東三大民謡の一つ、秩父音頭発祥の地としても知られ、毎年8月14日の秩父音頭まつりでは、県内外から多くの人々が集まり、やぐらを囲んで心ゆくまで祭りを楽しみます。



ポピー畑(彩の国ふれあい牧場)
標高500mの高原に咲く、広さ3.5ha、約1,000万本のポピーは、まさに天空の赤いじゅうたん。山の稜線を境に続く、澄み渡る空の青とのコントラストは、訪れた人々を夢空間にいざないます。



願いかなうまち

札立峠を越えて、日本百番(西国、板東、秩父)の札所巡りの結願寺、水潜寺へ。巡礼者は、ここに打留の札と笈摺を納め、静かに願いを結びます。水潜寺を少し下るとそこには旅の疲れを癒す温泉施設が二つ。湯舟からあふれる天然温泉は、その名も「満願の湯」。さっそく湯舟につかって一息といきたいところですが、少し足を伸ばして、秩父華厳の滝へ。滝上には、目を大きく見開いたユニークな不動明王があり、冬には見事な雪化粧。一見の価値有ります。



水潜寺



秩父華厳の滝



水と緑のふれあい館
(町営日帰り温泉)

受け継がれる伝統

江戸時代から伝わる「出牛人形浄瑠璃」、害虫や悪疫を村の外へ送り出す「虫送り」、戦国時代、甲斐武田勢と戦って討ち死にした鉢形北条の兵士や農民の霊を慰めるために行灯をともしたのが起源とされる「下田野行灯まつり」など特色ある伝統が大切に伝えられています。



虫おくり

ようこそ、皆野町のページへ。皆野町では、健康こそが笑顔の源!との考えのもと、がん健診や超音波検査、骨密度検査が無料で受けられる住民健診、中学校3年生まで医療費の負担をゼロにする「こどもの医療費制度」など、積極的に健康づくり、子育て支援に取り組んでいます。誰もが自分らしく、生き生きと。皆野町はそんな町を目指しています。

皆野町長 石木戸 道也

Mayor's word



笑いで元気に!健康に!

名産・特産・まち自慢!

町には隠れた名店がいっぱい。ぜひ、町中をゆっくり散策してください。うなぎ、そば、まんじゅう、各店の「自慢の逸品」に出会えるはず。ちょっと珍しい柿酢を使った料理や味噌カレーはいかがですか?



太古の姿

荒川にかかる親鼻橋の上流に見られる、国指定の天然記念物「紅麻片岩」の露頭。今から約2億年前の地殻変動によってできあがったもので、地質学の宝庫である秩父地方でもここにしかない貴重な存在です。

下田野行灯まつり



人も社会も自然もすべてが健康で、はつらつとしているまち



当町は、埼玉県の北西部に位置し、秩父盆地東北の入口で、中央部を流れる荒川の両岸に細長く開けた町です。

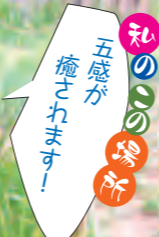
町全域が、県立長瀬玉淀自然公園に指定され、上長瀬から高砂橋に至る荒川の両岸は、名勝及び天然記念物保存区域となっています。

岩畳をはじめとする長瀬渓谷は、美しい渓谷美を見せていて、その独特の地形は「日本地質学会発祥の地」として、学術的にも国内外から高い評価を得ています。

豊かな自然環境に恵まれた観光のまちで、四季を通じて多くの方が訪れます。



通り抜ける桜付近のホタル生息地 幻想的で、神秘的な美しいホタルの舞。喧騒から離れ、幽玄なひと時が過ごせる場所です。



当町では、「自分たちの町は自分たちで守り育てる」と目に見える形で活動をされている団体が育ってきています。そして、今こそ行政が先頭に立ち、この豊かな自然環境を守り、町の発展と両立させることが大切だと思います。×なものを△へ、△なものを○へしていくことが、私たちの仕事であり使命と考えています。



長瀬町長 大澤 芳夫
Mayor's word

美しい観光地づくりの推進

自然環境、景観の保全と
その観光資源化の推進

名勝及び天然記念物に指定される「長瀬」の豊かな自然を守り、人も自然と共存できるように、美しい観光地づくりを推進しています。

花を生かした観光地づくりの展開

桜のほか、宝登山山頂のロウバイ園や梅百花園、ミツバツツジ、ヤマツツジ、シャクナゲなど四季を通して“花木”でもてなす心。通り抜ける桜(八重桜)等のライトアップなど趣向を凝らしています。

また数年前より、花の里づくりにも力を入れ、花を生かした観光地長瀬のPRを展開しています。



桜のトンネル
日本のさくら名所100選に選ばれた桜。見ごろは、4月上旬から中旬です。



ずまんじゅう
皮に発酵させた麴を含ませることにより、皮がフカフカになるのが特徴です。



宝登山神社

こんにやく
煮物やおでんなど料理の素材として使えます。



ぶどう
アルカリの土壌で育った、巨峰・ヒムロッドなどの品種があり、8月中旬から10月中旬まで採れます。

紅葉ライトアップ

町を元気にするこんな人たち。

花々町を活性化！美しく町を元気に！

四季折々に花が見られることを願い「花の里」づくりを旧新井家住宅付近の丘陵地で、町とともに進めています。花の栽培管理をボランティア活動によって行い、住民のコミュニティーの醸成と、美しい町づくりを目標に活動しています。花による町の活性化を目指して、今後も積極的に活動を展開していきたいと思っています。



長瀬町花の里づくり実行委員会

自然と歴史が
融合したまち!

小鹿野町は、豊かな自然と伝統文化など多くの貴重な資源に恵まれてた特徴ある町です。自然・歴史・文化を大切にしつつ、「協働・公平・元気」な町づくりに向け邁進しています。

小鹿野町長 福島 弘文

Mayor's word

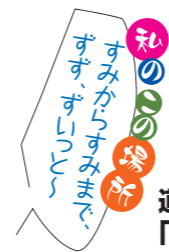


花と歌舞伎と名水のまち・おがの



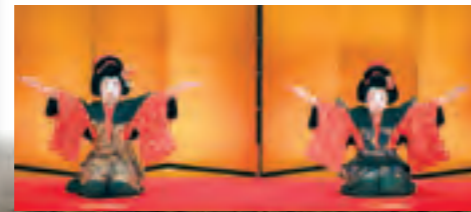
セツブンソウ

小鹿野町は、埼玉県の西北部に位置し、秩父多摩甲斐国立公園、県立西秩父自然公園、県立両神自然公園の指定地があり、豊富な自然に恵まれた町です。また、郷土の伝統芸能「小鹿野歌舞伎」は、先人たちが築きあげた貴重な文化遺産です。さらに町の花でもある「セツブンソウ」を始め、四季をとおして楽しめる花のある町でもあります。現在は、人と自然が共に輝き、活気あふれる元気な町づくりを進めています。



道の駅「両神温泉薬師の湯」

日帰り温泉施設「薬師の湯」は、単純硫黄冷鉱泉で、入口には「足湯」もあります。また、隣接する両神農産物直売所には、新鮮野菜など、地元の特産品が並んでいます。



秩父連山に囲まれた豊かな自然を満喫

小鹿野町は、日本の滝百選に選ばれた「丸神の滝」、ロッククライマーにも人気の「二子山」、自然がそのまま残る渓谷の「尾ノ内渓谷」と、豊かな自然に囲まれています。

また、伝統文化「小鹿野歌舞伎」が盛んで、町内の祭りに奉演する小鹿野歌舞伎の定期上演は、3月(日本武神社大祭)、4月(小鹿野春まつり)、5月(木魂神社大祭)、10月(妙見宮祭り)、(小森諏訪神社大祭)、11月(郷土芸能祭)、12月(八幡神社の鉄砲まつり)と、年間7回もあります。



二子山



両神山



ハナショウブ(6月)



フクジュソウ(2~3月)



ダリア(9~10月)

両神国民休養地内四阿屋山周辺 両神山麓花の郷

名産・特産・まち自慢!

名物「わらじかつ丼」

わらじのように2枚の大きなカツがドンブリにのってます。味よし、ボリュームよし、元気よしの折り紙つきです。町内17店でお楽しみいただけます。



名水「毘沙門水」

倉尾の馬上(もうえ)地内に湧き出る「毘沙門水」

尾ノ内百景・氷柱

河原沢「尾ノ内渓谷」に「氷柱」を製作。見頃は1月~2月中旬まで



300年の伝統を
守り続けます!
町を元気にする
こんな人たち。

200年の伝統ある小鹿野歌舞伎は、小・中学生による子ども歌舞伎、若手歌舞伎、女歌舞伎の一座も活躍し、後継者への受け継ぎも盛んです。ぜひ、「町じゅうが役者」の小鹿野歌舞伎をご覧くださいと思います。

小鹿野町在住
小鹿野歌舞伎後援会長 石川 竹次さん





千三百年の歴史を誇る、県内唯一の村



花桃の郷

1300年の歴史を誇る手漉き和紙の里で、「東秩父村和紙の里」は、村のシンボルとなっています。秩父山地と比企丘陵が出会う場所に位置し、村の中央を槻川の清流が流れ、周囲を500~800m程の山々が囲む、人口3500人余りの埼玉県唯一の村です。



二本木峠

二本木峠は、新緑の季節が素晴らしく、特に山つつじが木立の中一面に咲く5月上旬が最高です。冬の昼間は関東平野・秩父連山・上州のやまなみ等の大パノラマが、また夜には、眼下の夜景がとてきれいで、ロマンチックな気分になれますし、なんといっても元旦に拝む初日の出は、今年1年頑張るぞという気にさせてくれます。そんな二本木峠が一番好きな場所です。

伝統ある山里に和む

東秩父村和紙の里は、手漉き和紙作りの工程の見学・体験・和紙の購入等ができます。ここで5月に行われる和紙の里文化フェスティバルは25回を数えるまでになっています。

村を囲む山の尾根道は、のどかな牧場を見ながらのハイキングコースとして多数のハイカーが訪れ、その中にある二本木峠の山つつじは5月上旬、山一面を覆いつくし、高原の爽やかさとともに人々の心を癒してくれます。また、秩父高原牧場のポピー畑でも、3.5haに5月下旬から6月中旬に咲き誇り、県内外からの来場者で賑わいます。

3月になると大内沢地内の「花桃の郷」では、色鮮やかな花桃が山一面をピンク色に染め、春の訪れを村中に告げてくれます。また、10月から11月には、村内の神社で獅子舞や神楽などが舞われ、伝統文化を受け継いでいます。



東秩父村は県内唯一の村ですが、伝統ある手漉き和紙を中心に、花桃の郷や二本木峠の山つつじなどの美しい景観、地元JAの味に定評あるおやきやまんじゅうなどの特産品など、魅力がいっぱいです。一人でも多くの方々に「東秩父村に行きたい」と思ってもらえるような愛される村づくりを実現していきます。村のマスコットキャラクター「わしのちゃん」も皆さまのお越しをお待ちしています。ぜひ自然豊かな東秩父村へお越しください。

東秩父村長 若林 全
 Mayor's word



きょうと出る物を発信し続けます！

名産・特産・まち自慢！

神代里神楽

坂本八幡大神社に奉納される里神楽で、毎年11月3日に行われます。



獅子舞

萩平、浅間神社、朝日根の3つの獅子舞があり、それぞれの特徴で伝統を守っています。

和紙の里

東秩父村和紙の里は、約1300年の伝統を有し、手漉き和紙の見学と紙漉体験ができます。東秩父村で受け継がれてきた手漉き和紙「細川紙」の技術は、国重要無形文化財に、製作用具と製品は国重要有形民俗文化財に指定されています。

村を元気にするこんな人たち。

大内沢地区では、荒れた農地を解消しようと、地域の皆さんが話し合い、地域の景観形成にも役立ち、村の特産品ともなっている「花桃」を植えて、「花のある地域づくり」に取り組んでいます。

作業は、地区内の親子や孫ほどの年齢差のある人達が、昔話や将来の夢などを語りながら行なっています。この作業が地域内の連携を強くするとともに、都市と農村の交流を進めるきっかけになればと思います。皆で汗を流しています。

地域を愛し守っていきます！

東秩父村在住
 眞下 均さん



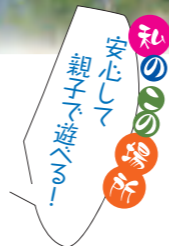
美しい里の町「美里」



美里町では、豊かな自然環境や美しい農村環境との共生を見本として、農・工・商・住の調和のある発展をめざした新たな都市空間や生活空間を行政と住民が共に力を合わせて創出し、生活に豊かさやゆとりが実感できる活力に満ちた町づくりをすすめています。



身馴川公園
 水と緑に気軽に親しめる親水公園です。浅瀬で水遊びできるスペースや滑り台、アスレチックなどの遊具もあって、親子連れでにぎわいます。



四季を通して美しいまち

「美しい里のまち・美里」その名のとおり、美里町は1年を通して、四季の花々が咲きそろう美しい町です。春の訪れを告げるのは、カタクリの花。3月、円良田地区のカタクリ群生地には、紫色の可憐な花が顔をのぞかせます。5月には、猪俣地区の約3.5ヘクタールの広大な敷地一面に咲くポピーの花。ピンク、イエロー、オレンジ、赤と、色とりどりの花が丘を彩り、人々の目を楽しませます。7月になれば日中友好的のシンボルとして、1997年に中国から日本に贈られた大使蓮の花が見ごろを迎えます。秋を彩るのは、志戸川と天神川の土手を真っ赤に染める曼珠沙華。さらに下児玉地区の約5ヘクタールの広大なコスモス畑には、風に揺れる500万本のコスモスの花が一面に広がります。



美里町マスコット ミムリン

美里町の広々としたのどかな田園地帯に、彩りを加えるのは「カタクリ、ポピー、コスモス、曼珠沙華、大使蓮」、甘い香りを漂わせるのは「梅、あんず、ブルーベリー、プルーン」。四季折々の花々と果実に包まれ、小山川や志戸川がゆったりと流れる里。また、ブルーベリーの実からなる町のマスコットミムリンも生息し、人々の夢を後押ししています。

美里町長 原田 信次

Mayor's word



美里町は心やすらぐ場所！

名産・特産・まち自慢！



果樹の甘い香りに包まれた里

美里町は「果樹の甘い香りに包まれた里」でもありません。平成11年度から5か年計画で実施した「観光果樹園100町歩構想」事業により、梅、あんず、ブルーベリー、プルーンのフルーツの里づくりが進んでいます。春から夏にかけての収穫シーズンには、美里町特産のブルーベリー狩りやプルーン狩りを楽しむ人々で、観光農園がにぎわいます。特にブルーベリーは、40ヘクタールで日本一の植栽面積を誇っています。



町を元気にするこんな人たち。

地域のために守っていきます！

平成17年に発足した「見守りボランティア」は、主に子ども達の登下校の見守り活動を行っています。現在70名(H22.10月現在)のボランティアさんは、通学路を中心に町の児童・生徒を見守っています。子ども達とも元気にあいさつを交わしています。また車や自転車で町を通行する時も町の安心・安全のために地域のパトロール活動も行っています。不審者出没や子どもが犯罪に巻き込まれる事件が増える中、ボランティアさん達は「地域の子供達は地域で守ろう!」と頑張っています。



地域とのふれあい・見守りボランティア

数多くの文化財を残し、近代においては幾多の偉人を輩出した旧神川町と豊かな自然とともに歩み、名水や冬桜など観光資源に恵まれた旧神泉村とがひとつになり、平成18年1月に新「神川町」が誕生しました。神流川の清流に沿った肥沃な大地により結ばれている神川町は、住民が安心して、安全に暮らせることはもちろんのこと、地域の特色を活かし、創意と工夫を凝らしながら、住民一人ひとりが誇りと愛着を持ち、生きがいを実感できる魅力ある町として飛躍しようとしています。



神川町長 清水 雅之
Mayor's word

小さくても輝けるまち神川に！

水と緑そして人が織りなす豊かなまち



神川町は、区域の3分の2が県立上武自然公園区域に指定されている、水と緑に恵まれたまちです。町の西側には、群馬県との県境をなす利根川水系の神流川が流れ、下久保ダム(神流湖)は、首都圏の水がめとして重要な役割を担っています。一方、首都圏85km内という恵まれた立地条件を生かして、果樹、施設野菜、花木など、様々な農産物が生産されています。また、工業においては、関越自動車道に近接する立地条件の良さもあり、工業団地への企業誘致や地元企業の育成など順調な発展をみせています。

城峯公園

一年を通して自然の美しさを楽しむ公園です。春はツツジの鮮やかな花が咲き、秋は冬桜と紅葉の競演が楽しめます。



冬桜と名水を求め多くの人が訪れるまち

三波石の巨岩や奇岩が連なり見事な景観を見せる国指定名勝の「三波石峡」やボート遊びや釣りが楽しめる「神流湖」、年間を通して家族でジギマス釣りが楽しめる「矢納フィッシングパーク」、川遊びが楽しめる「神流川水辺公園」や「鳥羽川河川公園」など、たくさんの水の名所が四季を通じて人々を引きつけます。晩秋の「城峯公園」では、あざやかに紅葉した木々と薄紅色の冬桜の競演という格別な風情を味わうことができます。



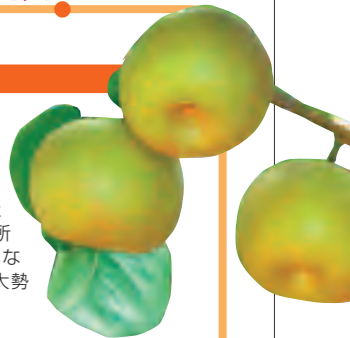
大光普照寺(金鑽大師)「だるま市」

国指定特別重要文化財「金鑽神社多宝塔」

名産・特産・まち自慢!

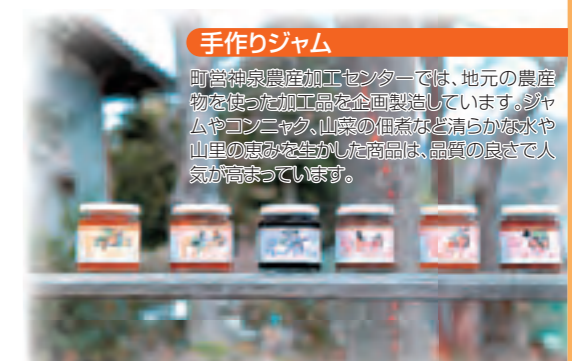
神川の梨

町の北部は「日本なし」の産地で、8月から9月にかけて国道254号や幹線道路沿線にはたくさんの梨の直売所が並び、甘くて新鮮な梨を求める人々が大勢訪れます。



手作りジャム

町営神泉農産加工センターでは、地元の農産物を使った加工品を企画製造しています。ジャムやコンニャク、山梨の佃煮など清らかな水や山里の恵みを生かした商品は、品質の良さと人気が高まっています。



ひのきの宿「冬桜の宿 神泉」

地元産ヒノキをふんだんに使用した町営の宿「冬桜の宿 神泉」。山並みを遠望し、眼下に神流湖を望む素晴らしい眺望と露天風呂が自慢です。



町を元気にするこんな人たち。

アカシアに囲まれて健康増進!

神流川河川敷に広がる野外スポーツレクリエーション施設「神川ゆ〜ゆ〜ランド」には、本格的な野球場とサッカー場が各2面、アカシア林に囲まれた国内有数の公認コースのターゲットバードゴルフ場があります。子どもから大人まで、手軽に体験できるターゲットバードゴルフで心地よい汗を流してみませんか?



小浜在住
町ターゲットバードゴルフ協会
山崎 好一さん



上里町は、自然豊かで災害が少なく、交通の便も良いとても暮らしやすい町です。人と自然が響きあうハーモニーガーデン「上里」にぜひお越しください。



上里のハーモニー
聞いてください！

上里町長 関根 孝道
 Mayor's word

人と自然が響きあう『ハーモニーガーデン上里』



上里町は埼玉県の最北端に位置し、町の半周を烏川・神流川に囲まれ、古くから上州・信州への交通の要所や水運を利用した河岸場として栄えてきた自然豊かな町です。近年は住宅地の増加などにより人口も3万人を超え、都市化も徐々に進んでいます。

上里町では、『人と自然が共生するまちづくり』『やさしさと思いやりが共調するまちづくり』『歴史と知恵が共鳴するまちづくり』の3つを基本理念とした『人と自然が響きあう“ハーモニーガーデン上里”』を将来像に掲げ、かけがえのない自然が豊かに残る上里町を次の時代へ受け継ぐため、町民のみなさんと行政がともに明るい未来にむけ、まちづくりを進めていきます。

礼のいのちを
 じゅすの
 じゅすの
 たんたう！



上里町金久保在住
 川村 律子さん・楓ちゃん

久保・コスモス畑

久保地区住民のみなさんの手により、約1.5ヘクタールの農地にさまざまな色をつけたコスモスが一面に咲き広がります。また、毎年10月にはコスモスマつりが開催されます。

埼玉県の北の玄関口『かみさと』

町のほぼ中央部を関越自動車道が東西に横断しています。町内には上里サービスエリアがあり、大勢のドライバーや観光客が休憩の場として利用されています。

町内には、大光寺・見通灯籠や陽雲寺・銅鐘など、数多くの史跡や旧跡が点在しています。また、『蓮』の花が咲くハス池も町内に数多く点在しており、7月上旬から下旬にかけて優美で華麗な蓮の花が咲き乱れます。



陽雲寺

鎌倉時代初期の元久2年(1205年)の創建と伝えられ、上里町の指定文化財に認定されています。国の重要美術品に認定されている銅鐘があります。



ほたるの里

御陣場川の廃河川敷を利用し、『みちくさの道』として整備されています。小川には清流が流れ『ほたる』が生息し、夏にはきれいなほたるの舞が見ることができます。

名産・特産・まち自慢！

梨

「みずみずしく、甘い」と味の良さでは日本有数といわれており、『上里梨』として広く出荷されています。



種子小麦

上里町は、小麦の採種ほ場として知られており、全国に種が配布されています。

西崎 キク

日本初の女性水上飛行士で、郷土訪問飛行や白濁親善飛行など数多くの飛行を行いました。著書に『紅翼と拓魂の記』。



町を元気にするこんな人たち。

あこがれの鷹匠に！
 子どもの時から

1600年の歴史をもつ諏訪流放鷹術保存会・鷹匠として活躍

小学生のころから鷹匠にあこがれを抱いていたので、鷹匠認定試験に合格したときはとてもうれしかったです。放鷹術を見るのを楽しみにしている人がたくさんいるので、一生修行をする覚悟でこれからも頑張りたいですね。

上里町七本木在住
 大橋 邦啓さん



寄居町は名水百選に認定された「日本水」に代表される豊かな自然と日本100名城に選定された「鉢形城」に代表される由緒ある歴史の町です。さらに、本田技研工業(株)の新工場が2013年に稼働する産業の町でもあります。ここでは紹介しきれない美味しいものもたくさんありますので、ぜひ皆さんも寄居町に足を運んでください。



人が集まる町
集う町!

寄居町長 島田 誠
Mayor's word

水の三冠王の町

町の観光資源を代表する清らかな水は、『風布川・日本水』が「名水百選」に認定されるほか、町全域が「水の郷百選」に、『日本水の森』が「水源の森百選」に認定され、まさに水の三冠王の町です。



また、『寄居町ハイキングコース』として、「名勝玉淀」などの水に絡んだコースや「鉢形城跡」などの、歴史の息吹を感じられるコースなど11コースが設定され、「寄居の四季」を満喫することができます。ハイキングをすれば、おながが空きますが、観光みかん園やぶどう園がその欲求を満たしてくれます。



みかん
日本のみかん栽培の北限域。
10月下旬から12月中旬までみかん狩りが楽しめます。

名産・特産・まち自慢!

エキナセア茶

町では、エキナセアの豊富な機能性に着目し、平成17年から本格的に栽培事業を開始し、活動団体である健康活性農場を支援しております。開発した「エキナセア花精活性茶」も現在、3種類の商品が用意されております。

- 1 日本茶と同様、急須に入れて飲んでいただくタイプ
- 2 よりお手軽にお茶を楽しむことができるティーバックタイプ
- 3 水でも溶ける粉末スティックタイプ

JAふかや寄居農産物直売所をはじめ町観光協会等でも買い求めいただけます。



みかんジュース

特産のみかんを使った果汁100%の手作りジュースを製造、販売しています。寄居町農産物加工研究会の会員が丁寧に一個ずつ皮をむき、中の実だけを絞り、加熱殺菌した添加物を一切使用しない、こだわりの逸品です。生産量が限られ、季節限定販売品。販売を心待ちにしているリピーターも多い人気の商品です。JAふかや寄居農産物直売所をはじめ町観光協会、JAちちぶ直売所等でも買い求めいただけます。



寄居北條まつり

4月の第二日曜日、寄居町の戦国時代を再現する、寄居北條まつりが行われます。鎧兜に身を固めた武将達が行列をなし、玉淀河原で大砲の砲声が轟きます。



自然と産業が調和する 創造のまち 寄居



寄居町は、荒川が関東平野に流れ出す扇状地の要に発展し、町域の7割を山林や農地等が占めています。

町の中央を流れる荒川は、春は玉淀河原の「桜・寄居北條まつり」、初夏の「釣り・カーナー」、夏の盛りの「寄居玉淀水天宮祭・イカダ下り」、秋の「紅葉」、冬の「白鳥」など、四季折々の表情で、多くの人々に自然の楽しさや安らぎを与えてくれます。また、当町は、古来より鎌倉街道や秩父往還が走り、上州・信州を臨む重要な地として歴史を刻んできましたが、現在でも関越自動車道花園ICを玄関口に、国道140号と254号、鉄道3線が結節する交通の要衝となっています。



鉢形城公園
「わたしの好きなよりい」は何といても鉢形城公園です。日本100名城に選ばれた鉢形城には戦国時代の門や建物等が復元されています。また、鉢形城歴史館では鉢形城に関する史料が展示されていますので、皆さんも鉢形城公園で戦国時代を体験してみませんか。

寄居町富田在勤
原口 優さん

町を元気にするこんな人たち。

多くの皆様の健康向上を願って!

エキナセアは、北米原産のキク科の植物で、ネイティブ・アメリカンが古くから親しんできた伝統的なハーブです。欧米ではハーブ売上ランキングで常に上位にランクしています。

日本でもエキナセア全草を利用したハーブティーや粉末加工した商品などが海外から輸入販売されるようになり、健康志向の高い女性を中心に利用する人が増えてきています。

健康活性農場では、乾燥させただけのハーブティーとは違い、生産者が一枚ずつ手摘みした葉を緑茶の製法を活かし、まろやかで飲みやすい風味の「エキナセア花精活性茶」を開発しました。

寄居町産「エキナセア花精活性茶」を是非、ご賞味ください。

寄居町用土在住

健康活性農場 代表 渡辺 秀之さん





水と緑のまち
集い、喜び、楽しみ、このまちで輝いています
ここには多くの人が



宮代町は、埼玉県東部、都心から40km圏内に位置する、面積15.95平方km、人口約3万4千人の町です。東武伊勢崎線が町を縦断し、駅が3つあるという好条件のもと、東京のベッドタウンとして発展してきました。また、日本工業大学の開校や東武動物公園の開園などにより、文化都市としての面も持ち合わせてきました。都心などに通勤するサラリーマン世帯がほとんどですが、まだまだ屋敷林や田んぼなどの自然が多く残されており、都市的な街並みと緑豊かな自然環境がバランス良く調和した町です。

町の風景を構成する 個性的な建築物

宮代町には、個性的な建物がたくさんあります。コロシアム風の外観のコミュニティセンター「進修館」、竜宮城のような「笠原小学校」、ガラス張りの屋根を持つトイレ「四季楽」、水と緑の宝庫である「新しい村」、そして遊園地と動物園が一体となった「東武動物公園」など多種多様な建築物が存在し、宮代町の風景を構成しています。



笠原小学校



東武動物公園

宮代町は、都心から1時間ほどの立地でありながら美しい田園風景など昔ながらの趣があります。また、町の中心には「東武動物公園」や「日本工業大学」、「新しい村」など魅力的な地域資源が集まっており、人と自然と文化がバランスよく調和されている町です。町では今、新しい村や東武動物公園といった地元の企業とコラボレーションした「婚活」やB級グルメでおなじみの「みやしろ棒きゅうざ」など新しい観光事業にも挑戦しています。住んでいる人も訪れる人もみんなが元気になる宮代町を目指しています。

宮代町長 庄司 博光

Mayor's word



建物見学も大歓迎
宮代町は個性的!

名産・特産・まち自慢!

巨峰と巨峰ワイン



宮代町特産の巨峰。農家のたゆまぬ努力と豊かな水と土に育まれた芸術的な逸品です。上品な甘味とみずみずしさの調和は見事です。

巨峰ワインの原材料は宮代産の巨峰。原料へのこだわりからつくり出される芳醇な香りと濃厚な味わいは、一度は味わってみる価値ありの贅沢な逸品です。



みやしろっ子

減農薬・無化学肥料により栽培された高品質の宮代産コシヒカリ。宮代の豊かな自然に育まれた美味しいお米です。

新しい村



「新しい村」は東武動物公園駅から1kmと中心市街地から近い場所にもかかわらず、町原風景である水と土と緑の宝庫です。13haのエリア内には、さいたま緑のトラスト第5号保全地に指定された山崎山の雑木林や、開墾当時の掘上げ田(ほっつけ)が残り、カワセミが飛来する貴重な自然環境が残っています。

町を元気にするこんな人たち。

人と文化と自然が調和したまち「宮代町」をもっと多くの方に知ってもらいたい。そんな想いを託して誕生したのが「宮代町外交官」。第1号として任命されたのは、宮代町出身で声優や歌手として活躍している國府田マリ子さんと、同じく宮代町出身でお笑いコンビ「ラーメンズ」の片桐仁さんのお二人。地元・宮代町のPRを快く引き受けてくれたお二人の活躍で、テレビやラジオ、雑誌の連載などいろいろな場面で宮代町の名前を目にするようになりました。生産者の顔が見える直売所「新しい村」や動物園と遊園地が楽しめるハイブリッドレジャーランド「東武動物公園」など新しい魅力あふれた、「宮代町」の良さをこれからも発信していきます。



宮代町外交官
國府田 マリ子さん・片桐 仁さん



▲ 町のご当地ヒーロー「みやしろ戦隊ハナレンジャー」の曲を歌う國府田マリ子さん

私のこの場所
家族と一緒に
ほっと一息

はらっパーク宮代

誰もがのびのびと楽しめる自由空間。家族や仲間たちとピクニックを楽しんだり、子ども達が自由に遊び回れる広場です。



伊奈町は現在人口が43,000人に迫る若さあふれる町です。緑豊かな自然や心安らぐ田園風景、積み重ねられた歴史や文化があり、この中で町の将来像を「自然と調和した、ふれあい・安心安全・住みよいまち」とし、魅力と活力ある元気な伊奈を目指しています。バラ園をはじめ、町内には見どころがたくさんあります。ぜひ伊奈においでください。



美しい中でも
勢いがあります！

伊奈町長 野川 和好

Mayor's word

色を楽しむ。 香りを楽しむ。

花と果樹が特色の町です。通称「無線山」にある樹齢約70年の桜並木と300種類4,500株以上の規模を誇る県内最大のバラ園があり、特に4月から6月中旬にかけての「さくらまつり」、「バラまつり」には、県内外から数多くの方が来場し、咲き誇る花やその香りなどを楽しんでいます。そのほかにもあじさいなど、様々な花を町内で楽しむことができます。果樹は梨、ぶどう、桃などの栽培が盛んで、シーズンになると地元農協の直売所のほか、各農家の直売所が町内のあちこちでオープンし、新鮮な果樹の販売が行われます。また、その果樹を生かして、伊奈町産の梨、巨峰を使った「梨ワイン」、「巨峰ワイン」を販売。好評を博しています。

名産・特産・まち自慢！

果樹の町 伊奈

梨やぶどう、桃などが多く栽培されています。中でも梨ワイン、巨峰ワインは地元産の果実を使っており、味も格別。一度お試しあれ。



道に名前をつけました

青葉通り

町内の主要路線に一般公募で名前を募集。素敵な名前がつけました。写真は「青葉通り」。秋の紅葉の時期には鮮やかな色が映えます。その様子はまるで別荘地のようなのです。



自然と調和した、 ふれあい・安心安全・住みよいまち



無線山の桜

埼玉県の中南部、都心から40km圏内という首都近郊に位置しています。古くから農耕が営まれ、江戸時代に関東郡代・伊奈備前守忠次の治水事業によって発展した町です。昭和18年に小室村と小針村が合併する際、伊奈氏にちなんで伊奈村と命名。昭和45年に町となり、昭和58年の埼玉新都市交通伊奈線（ニューシャトル）の开通により人口も増加し、平成21年には出生率が県内トップになりました。また、商工業の発展も著しく、従来の農村型社会から都市型社会へ大きな変化を遂げている元気な町です。



記念公園バラ園

300種類4,500株以上の規模を誇る県内最大のバラ園です。春の開花時には、色とりどりのバラが一気に咲き乱れ、多くの人々を魅了します。また、秋のバラ園もおススメです。静かな雰囲気の中でゆっくりとバラが楽しめます。

町を元気にするこんな人たち。

我が子のように可愛がっています！

バラマスターズとは、町のバラ栽培講習会受講生OBが集まり、年間を通じて記念公園バラ園の管理の一部を行っている団体です。わが子のようにバラに接し、肥料やりから剪定ときれいなバラを咲かせ、来場される方々に楽しんでもらえるよう努力しています。



わたしがバラマスターズです

ina-town



綾瀬川沿いの桜並木

綾瀬川沿いに約1.5kmにわたり、130本のソメイヨシノが植えられている場所です。時期がうまく合うと、土手に咲いた菜の花とのコントラストがとても見事です。

私のこの町を
こんなに大切に
可愛がっています！



みどりの生活拠点都市 —ふるさとを感じる新しい町—



本町は都心から40km圏に位置し、JR宇都宮線に2つの駅を有しております。白岡駅から上野駅、池袋駅まで約40分、新宿駅までは約45分で運行されており、交通の便がよいことから都市化が進み、昭和29年の合併時に約15,000人だった人口が平成21年には50,000人を超えるまでになりました。

今後は、首都圏中央連絡自動車道白岡菖蒲インターチェンジの開設など、社会経済状況の大きな変化も予想されています。

また、白岡町の梨は、町の特産物になっておりまして、各産業がバランスよく発展し、さらなる飛躍が期待されています。



しばやまめま
柴山沼

魚だけでなく水鳥もたくさんいるよ！遊びに来てください！

私のこの場所
釣りにも最適
気持ちいいよ

武蔵野の面影残す 美しいまち

本町には、自然沼としては県内第2位の面積を誇る柴山沼や見沼代用水路などの水辺環境をはじめ、旧日光御成道(現在の県道さいたま・幸手線)沿いの一里塚や野牛地区の古代蓮などの観光資源があります。

また、大字柴山には、享保12年(1727年)に完成した、元荒川の川底を見沼代用水がサイフォン方式で蓮田市に抜ける柴山伏越(しばやまふせこし)があります。



緑豊かな町並み

私たちのまち白岡は、埼玉県の北東部に位置し、武蔵野の静かな面影を今に残す、緑と自然に恵まれた美しいまちです。また、都心から40キロメートル圏内という立地条件により、緑豊かな住宅都市として発展しております。私たちのまち白岡に、是非、一度、お出かけください。

白岡町長 小島 卓
Mayor's word



県内有数の梨の産地
緑豊かな町国です

名産・特産・まち自慢!

推奨特産品

白岡町が太鼓判を押す推奨特産品の一部です。



梨のリキュール
幸水の舞

ブルーベリーのリキュール
太陽のブルーベリー

しらおかのなし餃子
(梨果肉入り)

ブルーベリーヨーグルト
アイスクリーム

三日月のブルーベリー

資料提供)白岡町商工会

町を元気にするこんな人たち。

わたしたちは、地域の交流や、ボランティア活動に興味を持っています。今回、充実したセカンドライフを求めて町主催による「地域デビュー応援講座」を受講しました。元気なうちに地域の皆様に少しでもお役に立ちたいと考えています。

あらゆることにチャレンジしたいと思いますが、わたしたち夫婦に何が出来るか、見つけられたら幸いです。



白岡町小久喜在住
竹井 洋児さん・保子さん



水と緑に囲まれたまち ちよつと田舎が、ちようどいい



ワシが翼を大きく広げて飛ぶ姿のような形をしている杉戸町。埼玉県の東部に位置し、日光街道第五の宿場町として古くから栄えた歴史ある町です。東に江戸川、中央に中川・倉松川、西には古利根川が流れ、首都圏40km圏内にありながら、水と緑のある豊かな自然に恵まれ、自然と人の調和から生まれる豊かな彩りがこの町にはあります。

この場所
色々なことに
利用できるのが魅力



杉戸町生涯学習センター「カルスタすぎと」

「カルスタすぎと」は学習・集会施設と図書館を兼ね備えた、緑豊かな杉戸町にふさわしく、木のぬくもりに包まれた雰囲気のある複合施設です。

図書館は片側全面ガラスで明るく、館内もゆったりとしたスペースで開放感があり、公園で本を読んでいるような、気軽にくつろげる空間です。

講演、演劇、コンサートなど、さまざまな利用形態に対応している多目的ホールや、音楽をはじめ、絵画・工芸・陶芸などに利用できる部屋もあり、興味を続ける人の強い味方となっています。



紹介者
すぎぴょん

四季の表情豊かな 田園都市

古くからの宿場町のたたずまいを感じさせる町並みとともに、一年を通してさまざまな風景に出会うことができます。

春には、西隣公園の250本の桜の木が美しく咲き乱れ、多くの見物客が集まります。

夏には、古利根川を舞台に流灯まつりが行われます。たたみ一畳ほどもある手作りの大型灯籠が250基あまりも浮かべられ、幻想的な美しい光の帯を1kmにわたり川面に描き出し、その様子は“地上に降りた天の川”と例えられています。

秋には、産業祭が盛大に開催され、地元の農産物の展示即売や商工業者による模擬店が多数出店します。また、ステージ上では毎年趣向を凝らしたパフォーマンスが行われ、会場をさらに盛り上げます。

冬の新春マラソン大会では、町内外から多くの参加者が集まり、寒さを吹き飛ばす熱い戦いが繰り広げられます。

このように四季折々に応じて、いきいきと生活を楽しむのも杉戸町気質といえるかもしれません。



水と緑に囲まれ、美しい田園風景が心もからだも癒してくれる杉戸町。春はさくらまつり、夏は幻想的な流灯まつり、秋はアグリパークで産業祭、冬は元気にマラソン大会…住民の一人ひとりの輝きが、歴史や伝統、地域に根ざした文化を育み、“みんな”でよい町をつくり、大らかに温かい未来につなげていきたいと思っています。ぜひ、一度、お越しください。

杉戸町長 古谷 松雄
Mayor's word



豊かな自然と
人が財産です

名産・特産・まち自慢!

アグリパークゆめすぎと



農業振興と地域活性化の拠点として、皆に愛される「アグリパークゆめすぎと」。
広大な敷地を保有し、地元農家の方々が持ち込んだ新鮮な朝採り野菜の直売や、地元産のそばを味わうことができ、子どものための遊具も充実しています。また、農業体験ができる施設として、連日、町内外からの多くの来園者で賑わっています。
食べて遊んで楽しく一日を過ごすことができ、杉戸町の多彩な魅力に触れることができる施設です。

町を元気にするこんな人たち。

杉戸町宣伝大使に就任した、杉戸町出身のタレント蛇川美穂子さん。
テレビなどのさまざまなメディアで活躍する蛇川さんに、杉戸町の魅力を広く伝えていただきます。
蛇ちゃんと杉戸町は、これからどんどん成長していきます!!



杉戸町宣伝大使
蛇川 美穂子さん (北陽)

水と緑が彩る 快適なくらしを 創造するまち



本町は、江戸川、古利根川、中川沿いに古く形成された集落から発展した町で、このことは、町内から発掘された文化財等から推測できます。

埼玉県の南東部、北葛飾郡のやや南に位置し、都心から30km内の首都圏近郊整備地帯に属しており、東は江戸川を隔てて千葉県野田市、南は吉川市、西は古利根川を境に越谷市、また、北は春日部市に接しています。

町域は、東西約4km、南北7.5kmと南北に長い形をなしていて、行政区域面積は16.22km²です。



築比地地区の斜面林

千葉県の下総台地から続く、本町で一番高台である築比地地区の斜面林には、ケヤキやナラ・ハンノキなどの雑木が、水田と用水堀を境に斜面に沿って広がり、本町ではとても素晴らしい景観を醸成しています。また、高台なので四季を通じて眺めも良い上風通しもよく、役場近辺の低地に比べ緑地が多いせいか、夏場の気温はやや低めでとても良いところです。



芸術と文化、スポーツと自然のまち

1987年に、松伏町の町制施行20周年を記念して建設された「田園ホール・エローラ」は、町のシンボルとなり、常時コンサートなどが開催されています。日本の代表的な作曲家であった故芥川也寸志氏の、アドバイスとプロデュースによって造られました。音響の良さには定評があり、レコーディングにも使用されています。また、このホールには日本画の代表的な画家である後藤純男氏の絵画を展示するギャラリーを併設するなど、格調高い施設となっています。

町民の憩いの場となっている松伏記念公園と松伏総合公園は隣接しており、園内に様々なモニュメントや芸術作品が点在しています。高さ18mのスペイン風の風車型展望台や、多くの水鳥たちがのんびりと泳ぐ調整池などもあります。また、平成19年3月に、県営まつぶし緑の丘公園が一部開園され、今後も「人と環境にやさしい都市公園」として整備が進められています。



桜並木

ゴッツ 石島選手



石川 遼選手

町を元気にするこんな人たち。

日本を代表する日本画家である後藤画伯は、町内にアトリエを持ち、公共施設にも作品を展示していただくなど、たいへんゆかりが深く、平成12年には松伏町名誉町民となっています。

石島選手は、バレーボール日本代表チームや所属するVリーグ堺ブレイザーズのエースとして大活躍し、町民としては初めてのオリンピック出場を果たしています。

石川選手は、史上最年少で2009年男子プロゴルフ賞金王に輝くなど、次々と大記録を達成し、若くして日本を代表する選手の一人となっています。



後藤 純男画伯

松伏町は、江戸川、中川、大落古利根川の3本の河川が流れ、自然が多く残っています。また、四千年の昔を偲ぶ栄光院の貝塚や点在する屋敷林といった貴重な田園風景が特色となっています。南部には松伏記念公園があり、多くの町民にスポーツの場や憩いの場として親しまれています。

松伏町長 会田 重雄

Mayor's word



水と緑豊かな松伏町です

名産・特産・まち自慢!

古利根川沿い堤防

田中地区の古利根川沿い堤防には、桜並木が続き、春には花見をする多くの人々で賑わいます。また、町内各地でからし菜が群生するなど、自然豊かな町並みが特色です。



まつぶしまちの推奨特産品



松伏町商工会が「まつぶしまちの推奨特産品」を認定しています。松伏町自慢の20の品々を、ぜひご賞味ください。

元気な 24
埼玉の町村
TOWN AND VILLAGE GUIDE
埼玉県 町村ガイド

編集・発行／埼玉県町村会 製作／(株)コア



歴史と文化、そして武蔵野の面影を今に残す緑豊かなまち



「のぞみちゃん」と「みらいくん」

三芳町は、埼玉県の南西部にある「歴史と文化そして武蔵野の面影が今も残る緑豊かなまち」です。

当町は、首都圏30キロ圏内という立地条件に恵まれ、首都近郊のベッドタウンとして、又首都圏の流通拠点としてめざましい変貌を遂げてきました。又一方では、現在も武蔵野の美しい雑木林や整然と区画された畑など多くの自然を残しており、都市近郊型の農業も盛んな商・工・農のバランスのとれた町です。平成22年9月、町制施行40周年を記念して誕生した新キャラクター「のぞみちゃん」が、「みらいくん」(平成元年、三芳生誕100周年記念で誕生)のガールフレンドとして誕生しました。今後、三芳町の魅力をPRしていきますので、応援よろしくをお願いします。



武蔵野の面影を残す雑木林

町内のあちこちで見かける雑木林は、武蔵野を代表する風景です。枝葉をいっぱい広げ、涼しげな影を落とす木々の姿は、私たちに潤いと安らぎを与えてくれます。



今なお色濃く残る江戸の新田開拓風景

美しい地割りの畑が続く上富地区は、元禄7年、川越藩主・柳澤吉保の命による「三富新田開拓」で誕生しました。三富は、上富(三芳町)と中富・下富(所沢市)からなり、ケヤキ並木沿いに屋敷が並び、短冊形に地割りされた耕地と平地林が続き、今でも江戸時代の新田開拓の面影を色濃く残しています。



多福寺

元禄9年に三富新田に入植した農民たちの菩提寺として創建された多福寺には、三富新田開発当時の資料や柳澤吉保ゆかりの文化財が多く伝え残されています。



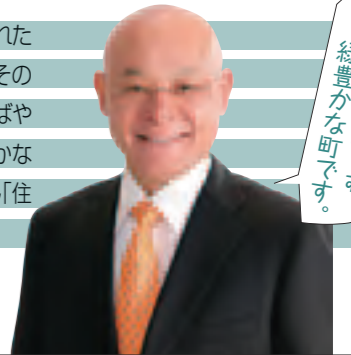
木ノ宮地蔵堂

三芳町上富の多福寺境内にある木ノ宮地蔵堂は、子授け・安産にご利益があるとされ、昔から「富の地蔵様」として多くの人から親しまれています。その起源は中世まで遡るとされており、現在の本堂は安永6年に再建されたものです。

本町は、首都30km圏内で「日本の里100選」に選ばれた三富新田に代表されるように農と緑が調和した町です。その他にもこぶしの里、竹間沢車人形、狭山茶、川越いも、そばや美味しい三芳野菜など、多くの歴史、景観、産物など豊かな観光資源があります。これらを有機的に結びつけ、活用し「住んでよし、訪れてよし」の観光の町づくりを推進します。

三芳町長 林 伊佐雄

Mayor's word



川越町は、農に親しみ、緑豊かな町です。

名産・特産・まち自慢!

とめ 富の川越いも

さつまいもの女王と称されるほど有名な「富の川越いも」は、三芳町上富(旧川越藩上富村)の地で、江戸時代から受け継がれている「平地林の落ち葉をたい肥に用いた伝統的な有機農法」で栽培しています。



三芳町B級グルメ「切り株揚げ」

上富地区で栽培される紅赤「富の川越いも」に、衣を絡ませ「切り株」に見立てながら仕上げた逸品です。ぜひご賞味ください。



みよしそばの里

平成7年から始まったそば栽培も、現在の栽培面積は60ha(町外含む)で、生産量は一団塊としては県内1(80t)です。「みよしそばの里」では、十割そばを味わえるほか、自家製粉したそば粉の販売や手打ちそば体験もできます。



町を元気にするこんな人たち。

おこし野菜 つりまます!

三芳町を中心に農業者26名で構成する農業者集団(農事組合法人)です。私たちメンバーは、土づくりから栽培方法、野菜の荷造りまで統一した考えを持ち、安全・安心・そしておいしい野菜作りに取り組んでいます。現在、ほうれん草・小松菜などの葉ものを中心に栽培し、県内はもちろん都内のスーパーに出荷をし、三芳の野菜のPRと販売促進に努めています。また県からエコファーマーにも認定され、今後もさらに安全・安心な野菜をつくり、環境にやさしい農業への取り組みをしていきます。



三芳すこやか部会 代表理事 鈴木 浩さん





いにしえの鎌倉武士の 伝統を受け継ぐ町



都心から約1時間という好立地に恵まれ、昭和40年ごろから現在にいたるまで、急速な発展を遂げながらも、いまだ奥武蔵の美しい自然が残る毛呂山町。古くから鎌倉街道や八王子往環が通る交通の要衝として栄え、900年余りの歴史を誇る流鏝馬や、武者小路実篤の創設した新しき村など、数々の伝統や文化が受け継がれています。町の中心には、埼玉医科大学があり、充実した保健、医療のサポートが受けられる福祉の町でもあります。



埼玉医科大学



花の名所に 魅きつけられる



滝ノ入・ローズガーデン

豊かな自然に恵まれた毛呂山町には、花の名所が数多くあり、四季折々、訪れた人の目を楽しませてくれます。なかでも、一番の景勝地は桜の名所として知られる鎌北湖。ここは、「奥武蔵自然歩道」のスタート地点でもあり、多くの人ハイキングに訪れます。秋には特産物のゆずで山は黄金色に色づき、町は芳しいにおいに包まれます。



桜の鎌北湖

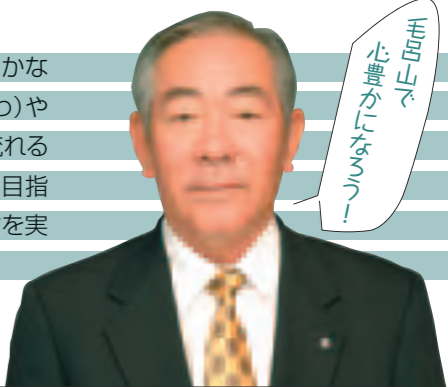
鎌北湖は山あいにはひっそりとたたずむ姿が美しく、別名「乙女の湖」と呼ばれています。春は桜、初夏は新緑、秋は紅葉と、四季折々の景色を楽しむことができます。

町を元気にするこんな人たち。

毛呂山町のゆずは、品質がよく、肉厚で香りが高い逸品として全国的に有名です。現在、生産者はこの逸品を後世へと伝えていくために様々な取組をしています。ゆずオーナー制度は、平成18年から始められた制度で、オーナーに、ゆずの木を1年間買い上げていただき、収穫を楽しんでいただく制度です。私の農園でも、オーナー用の木が30本位あり、毎年15人ほどの登録があります。木に生えているトゲに驚く人も多のですが、なるべく収穫しやすいように樹高を低くするなどの工夫をしています。これからもゆずを収穫する楽しさを多くの皆さんに味わっていただきたいと考えています。

もろやま町桂木ゆずオーナー組合長

青木 甫さん



毛呂山町長 小沢 信義
Mayor's word

毛呂山町は、東は肥沃な関東平野、西は緩やかな秩父山地の山裾が広がり、越辺川(おっぺがわ)や毛呂川(もろがわ)などのいくつもの清流が流れる美しい町です。「緑とふれあいの文化都市」を目指して、住んでいる人も訪れる人も、心の豊かさを実感できる町づくりに取り組んでいます。

毛呂山町
心豊かに暮らそう！

名産・特産・まち自慢!

ゆず

毛呂山町のゆずは、全国の中で、もっとも古い歴史を持つといわれています。表皮が柔らかく厚みがあり、香りがよいことから、市場で高い評価を得ています。



たまご

過去、2回も農林大臣賞を受賞した自慢の卵。澄んだ空気と自然豊かな環境で生まれた卵は滋養豊かでミネラルがたっぷりです。



箕和田湖(みのわだこ)

へらぶな釣りで賑わう箕和田湖。湖の周辺には遊歩道が整備され、のんびりと散策を楽しむこともできます。



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

新しき村「風光明媚な理想郷!」

白樺派の文豪武者小路実篤がつくった村で、15人ほどの村人が自他共生を目指して共同生活を営んでいます。村で作った無農薬の野菜や、おいしい卵が売られていて、訪れるのが楽しみな場所です。春から初夏にかけて梅、桜、牡丹が咲いて、心身ともに癒されます。

心の理想の郷!